慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	大島通義教授略歴・著作目録
Sub Title	Chronology and bibliography of the writings of Professor Michiyoshi Oshima
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1995
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.87, No.4 (1995. 1) ,p.636(128)- 637(129)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19950101-0128

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

大島通義教授　略歴・著作目録

1994年12月現在

略　歴

1952年３月	慶應義塾大学経済学部卒業
1957年３月	慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程を単位取得により退学

職　歴

1954年４月～57年３月	慶應義塾大学副手（経済学部）
1957年４月～60年３月	同　　助手（同）
1960年４月～62年３月	同　　専任講師（同）
1962年４月～73年３月	同　　助教授（同）
1970年４月～71年９月	同　　通信教育部学生部長を兼務
1973年４月～95年３月	同　　教授（経済学部）兼大学院経済学研究科委員
1977年６月～81年６月	慶應義塾常任理事
1981年10月～87年９月	同　　大学経済学部長・経済学研究科委員長・慶應義塾理事
1992年４月～95年３月	独協大学経済学部非常勤講師
1995年３月	慶應義塾大学を定年により退職

大学外における役職

1988年８月より	学校法人運営調査委員（文部省）

国外留学

1963年10月～66年１月	ケルン大学
1974年８月～75年２月	ドイツ連邦文書館（コブレンツ，フライブルク），ドイツ中央国立文書館（ポツダム），現代史研究所（ミュンヘン），その他。 （いずれもアレクサンダー・フォン・フンボルト財団の援助による）

所属学会等

日本財政学会，日本地方財政学会，日本ドイツ学会，東日本アレクサンダー・フオン・フンボルト協会

主要論文等

［ドイツ財政史］

「1879年の関税および財政改革――帝国主義形成期におけるドイツの財政政策　(1)」『三田学会雑誌』52-1（1959年1月），20～37頁。

「1891～３年のプロイセン税制改革――帝国主義形成期におけるドイツの財政政策　(2)」『三田学会雑誌』52-7(1959年７月)，603～620頁。

「帝国主義確立期におけるドイツ財政の構造と機能の発展――一つの試論」『慶應義塾経済学会　経済学年

報』3号(1959年度), 107～185頁。
「世界恐慌期におけるドイツの財政過程・分析・序説」『三田学会雑誌』59-12(1966年12月), 1365～1384頁。
「ヴァイマル共和制末期における財政破綻」『アナリスト』1968年3月, 28～49頁。
「大恐慌初期におけるドイツの財政過程」『慶應義塾経済学会　経済学年報』12号(1968年度), 293～368頁。
「ブリューニング政権における財政政策の指導」『三田学会雑誌』63-2(1970年2月), 127～147頁。
「財政政策と賠償問題――ブリューニング財政の一考察――」『三田学会雑誌』66-2/3(1973年3月), 105～138頁。
「雇用創出政策の成立」『三田学会雑誌』67-2/3(1974年3月), 77～106頁。
「ヴァイマル共和制下のドイツ財政」『現代資本主義と財政金融（加藤・武田教授還暦記念・遠藤教授追悼論文集)』東大出版会, 1976年7月, 87～102頁。
「ヒットラー・国防軍・会計検査院」『三田学会雑誌』69-5(1976年6月), 298～318頁。
「第三帝国における予算政策」『三田学会雑誌』70-3(1977年6月), 275～294頁。
"Die Bedeutung des Kabinettsbeschlusses vom 4. April 1933 für die autonome Haushaltsgebarung der Wehrmacht", in : *Finanzarchiv*, N.F.Bd.38, Heft 2 (August 1980). S.193～235.
「資料　ドイツ・ライヒの財政収支（1933～1944年度)」『三田学会雑誌』76-1(1983年4月), 151～174頁。
「第三帝国における軍事費の手形金融」『三田学会雑誌』79-1(1986年4月), 58～90頁。
「危機の年(1938年)の財政過程」『三田学会雑誌』80-6(1988年2月), 547～577頁。
「ナチス政権下の財政調整」宮本憲一・林健久・大島編著『政府間財政関係論』有斐閣, 1989年5月, 231～247頁。
「資料　第三帝国の財政統計・増補改定版(1), (2), (3)」『三田学会雑誌』84-2～4(1991年7月～1992年1月), 478～507, 673～702, 999～1039頁。

［日本財政論］

「日本財政の国際比較」林栄夫他編『現代財政学体系　第2巻　現代日本の財政』1972年9月, 259～302頁。
"Japan", in : *Handbuch der Finanzwissenschaft*, 3.Auflage, Band IV, 1983, S.847～870.

［そ　の　他］

「ニューディール財政の構造分析　(1)」『三田学会雑誌』56-9(1963年9月), 811～837頁。
「経済成長の財政政策論」井汲卓一他編『現代帝国主義講座』第5巻, 日本評論社, 1963年, 113～153頁。
「近代の財政思想, 現代の財政思想」高橋誠・柴田徳衛編『財政学』有斐閣双書, 第3・4講, 1968年3月。
「予算論」大熊一郎・古田精司・飯野靖四・大島『財政論』世界書院, 1975年4月, 1～79頁。